

AKP の歴史的な敗北

国内 81 県の市区長などを選ぶトルコの地方統一選挙が 2024 年 3 月 31 日に実施され、大都市部を抑えた野党 CHP (共和人民党) の「歴史的な勝利」¹となり与党 AKP (公正発展党) の人気低下が印象付けられる結果となった。今回は首都アンカラ、最大都市イスタンブルで AKP が CHP から市長ポストを奪還できるかに注目が集まっていた。

全国では CHP が 37.8%、AKP が 35.5% の得票率でその差は 2% 程度である²が、アンカラでは CHP のヤワシュ現市長が 60.4%、AKP 候補は 31.7%、イスタンブルでも CHP のイマモール現市長が 51.1%、AKP 候補は 35.6% と、いずれも CHP の圧勝となった。

長引くインフレとリラ安、加えて 2023 年 2 月に発生したトルコ・シリア地震よりトルコ経済は厳しい状況にあり、国民の日常生活にも影響がでている。エルドアンは対策を打ったものの成果が上がらないことや、長期化するエルドアン政権下での閉塞感も AKP の敗北の要因となったと考えられる。

「イスタンブルでつまずけば・・・」

イスタンブルではイマモールとクルム前環境・都市化大臣との一騎打ちであり、イマモールは “Tam Yol İleri” (「全力で前進」といった意味) をスローガンに掲げ精力的にキャンペーンを行い、各地で熱狂的な大規模集会が開催された。一方の AKP 陣営はエルドアン大統領が前面に出て熱弁をふるう場面が多く見られ、「エルドアン対イマモール」の様相を呈していた。

イスタンブルは全人口のおよそ 20% にあたる 1600 万人を抱える世界でも有数の大都市であり、政治的、経済的な影響力も大きい。市長として実績を残せば、さらに道は開ける。イスタンブルの下町出身のエルドアンは、1994 年からイスタンブル市長を務めたのを皮切りに、首相、大統領へと上り詰めた。“İstanbul’da teklersek, Türkiye’de tökezleriz” (「イスタンブルでつまずけば、トルコでつまずく」)³ というのはエルドアンが口にしてきた言葉であるが今回も、エルドアンはおひぎ元のイスタンブルでつまづいたことになる。

イマモールはイスタンブル市内のベイリクドゥズ区長を経て、前回 2019 年の選挙で市長選に出馬し、ユルドゥルム元首相と争い勝利を収めた。しかし AKP が選挙結果に対する意義申し立てを行い、再選挙となった。再選挙では従来の支持者に加え、AKP の異議申し立てに疑問を持つ有権者の票も集め 1 回目よりも多くの得票でイマモールがふたたび勝利した。イマモールは世俗主義の CHP に所属しているが、イスラームにも造詣が深いとして保

守的な有権者からの支持も得ている。

市長に就任後、イマモールは侮辱罪で訴えられているが容疑の内容や裁判に関してもあやふやな点も多く、イマモールの人気に危機感を持った体制側がイマモールを排除するために、再選挙に続いて裁判という法的手段をも利用しようとのだと考えられる。こうした「妨害」にも関わらず、イマモールは大きな勝利を収めたのである。

エルドアン体制の終わりの始まりか

今回の結果はエルドアンに対する「レッドカード」⁴とする見方がある。退場を政権交代とするならば、それを予感させる出来事は今回の選挙が初めてではない。たとえば上述した2019年のイスタンブール市長選でのAKPの敗北や、2023年の大統領選挙においてエルドアンは一世論調査で野党候補にリードを許しながらの一薄氷の勝利であり、従来のような圧勝はもはや望めなくなった。この大統領選挙に際し、政治方針も思想もばらばらな野党6党が「反AKP」で結集しており、今後の政局によってはふたたび結集する可能性もある。そしてこれまでAKPの岩盤支持層だった強固な保守層が、イスラーム系の新政党へと流れている。起死回生の一手がなかなか見えてこない。

一方、イマモールはエルドアンの最大のライバルとしての地位を決定的なものとした。イマモールは区長からイスタンブール市長となった。この経歴はエルドアンの経歴と重なるところがある。エルドアンがかつてそうだったように、イスタンブールで勝利したイマモールが2028年の大統領選に出馬すれば、勝利する可能性は十分にあるだろう。

¹ “CHP İstanbul İl Başkanı Çelik: Tarihi bir zafere gidiyoruz”, *Gazete Duvar*, 2024.3.31.

<https://www.gazeteduvar.com.tr/chp-istanbul-il-baskani-celik-tarihi-bir-zafere-gidiyoruz-haber-168079>.

² CHPは全国81市・県のうち35市で勝利（改選前は21市）し、一方、AKPは29市に留まった（改選前は39市）。

³ “Erdoğan: İstanbul'da teklersek, Türkiye'de tökezleriz”, *NTV Haber*, 2017.8.20.

https://www.ntv.com.tr/turkiye/erdogandan-ak-partiye-istanbul-uyarisi,WwdVJVjYE0us3xy4x288_Q.

⁴ “Turkey’s Erdogan dealt major election blow as opposition party wins big cities”, *CNN*, 2024.4.1.

<https://edition.cnn.com/2024/04/01/middleeast/turkey-local-election-blow-erdogan-opposition-mime-intl/index.html>.